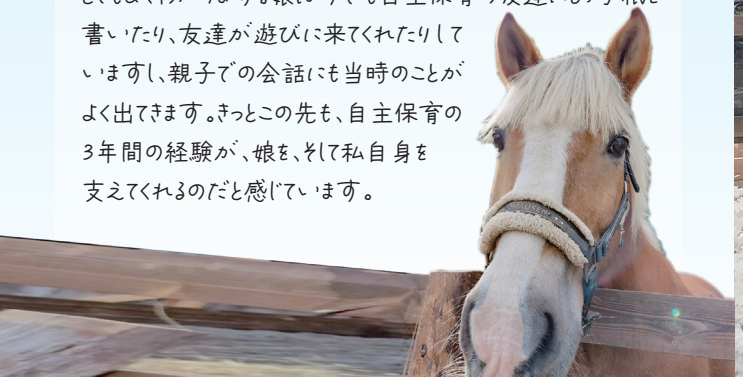
自主保育で過ごした3年間①（うまエッセイ21）

2016年4月、自主保育ももやまの入室式を迎え、ももやま生活が始まりました。園舎のないももやまは、毎日自分でリュックを背負い、あちこちの公園へ歩いて（遠くの公園の場合は、車で）出かけます。名古屋は公園がたくさんあり、整備された公園の中に雑木林が残っていたりして、たくさんの自然に触れ、五感を通して遊ぶことができました。公民館の部屋を借りることもあり、身体の土台作りのために、リズム体操、竹鉄棒、ぞうきんがけなども行っていました。娘が好きだったのは、リズム体操と竹鉄棒。リズム体操では、音をしっかり聞くこと、リズムを感じて合わせること、楽しく身体を動かすことなどを通して、心も身体も育っていきます。竹鉄棒は、大人2人で竹の棒を持ち、そこに子どもがぶら下がる遊びです。しっかり握って、自分の身体を支える力がついていきます。

様々な活動を通して、少しずつ身体の使い方が上手になり、そのことが自信になって、いろいろなことに挑戦しようという気持ちが育っていったように思います。一人で遊ぶことが多かった娘が、お友だちと遊ぶようになり、保育終了後もみんなと遊んで「帰らない～」と言うようになりました。そして年少～年長まで一緒に活動することも多く、一人っ子の娘にとっては、異年齢の子どもたちと遊ぶいい経験になったと思います。また年中・年長になると山登りにも挑戦。しっかりと歩けるようになるとともに、しんどくても頑張る力もついたと思います。娘と同じ学年は12名でしたが、保育士の先生方が一人一人をしっかりと見て下さり、保護者同士も子どもにとって何が大切かを学んで共有した3年間は、本当に大切でかけがえのない時間だったと、今になってとてもよくわかります。娘は今でも自主保育の友達にお手紙を書いたり、友達が遊びに来てくれたりしていますし、親子での会話にも当時のことがよく出てきます。きっとこの先も、自主保育の3年間の経験が、娘を、そして私自身を支えてくれるのだと感じています。



オススメの本

『ペニーの日記読んじゃだめ』

ロビン・クライン作／アン・ジェイムズ絵／安藤紀子訳

馬が大好きで老人嫌いな女の子ペニー。ひとりのおばあさんと出会い、友情が生まれていくまでの 12 日間をユーモラスな日記で描いた本です。馬の学校のプログラムに参加して下さっている方が、娘にプレゼントしてくれました。表紙・裏表紙の裏には、馬体の名称や骨格、馬の手入れ道具等がイラスト付きで載っており、本文中にもイラストや写真がたくさんあって、楽しく読み進められます。

オススメだよ

編集後記

GW に念願の活動再開!というのに、GW の 2 週間前にぎっくり腰になったり、直前に発熱したりで、どうなることかと思いましたが、たくさんの方に助けていただいて、何とか無事に GW を終えることができました。昨年プログラムに参加した方が連絡をくださったり、裏山つながりで遊びに来てくださったりと、ミルキーとともに楽しい時間を過ごすことができました。

6 月から正式に始まった「ミルキーアフタースクール」は、平日の放課後に馬のお世話と月 1 回の乗馬、そして宿題をするというもの。ミルキーフレンズからの口コミで現在 6 名の子どもたちが来てくれています。また土日に行っているミルキーフレンズも、毎週末来てくれる子どもたちが増え、とてもにぎやかな時間になっています。もちろんお世話も乗馬も楽しみますが、馬のいる空間で仲良く遊んでいる子どもたちを見ていると、とても幸せな気持ちになります。馬の学校がみんなにとって居心地よい空間となっていくよう、私自身も楽しみながら取り組んでいきたいと思います。

（峯崎友香理）

発行　馬の学校 Milky Way
〒408-0002　山梨県北杜市高根町北割 3107 八ヶ岳南麓 URAYAMA
TEL/FAX：0551-30-4397　E-mail：umanogakkou@yahoo.ne.jp
ホームページ：http://www.horseschool.org
第一種動物取扱業（展示）登録番号：第 2241008 号　動物取扱責任者：中井（峯崎）友香理

2024.7
Vol.94

馬の学校 Milky way 通信

夏休みのプログラムをチェックしてね